



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月26日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2021年1月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績 (2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	992	91.1	152	47.7	152	47.1	105	46.7
2020年9月期第1四半期	519	—	102	—	103	—	72	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	9.07	8.60
2020年9月期第1四半期	7.06	6.49

- (注) 1. 2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第1四半期の数値の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 2020年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年9月期第1四半期	5,495		2,785		50.4
2020年9月期	6,173		2,673		43.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,769百万円 2020年9月期 2,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,172	60.4	620	21.5	617	20.6	450	21.8	38.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	11,673,700株	2020年9月期	11,667,700株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	24株	2020年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	11,672,502株	2020年9月期1Q	10,220,348株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものが最初に見つかり、手に入る場所を提供することを目的に、プラットフォーム「Makuake」を運営しております。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により依然として厳しい状況にあります。国内の感染拡大防止策を講じる中で、回復の動きが期待されております。しかし、今後の感染症拡大状況の変化による世界的な景気の下振れリスクには十分注意が必要であり、先行きが不透明な状況は今なお続いております。

当社の経営環境は、新商品販売におけるオフラインの新商品デビュー市場及び新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の複数の市場の影響を受けており、新商品や新サービスデビューのEコマース市場は非常に高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、事業者(プロジェクト実行者)において新商品や新サービスのデビューの場を展示会、見本市又はオフライン店舗等からオンラインにシフトする動きが続いているほか、消費者(プロジェクトサポーター)においては流通業者によって選ばれ展示、販売されているオフライン店舗の新商品、新サービスではなく、自分の趣味嗜好に合った新商品をオンラインで楽しむ/見つける応援購入という新たな消費スタイルへの需要が拡大しております。

当第1四半期累計期間は2020年9月期における事業の急成長に合わせ、先行販売に対する品質保証体制の強化を図り、第2四半期以降の更なる成長に対する準備を進めました。具体的には掲載プロジェクトの魅力を最大化するサポートを行っているキュレーター部門において、採用・育成体制の強化、ノウハウ共有体制強化、コンサル力の強化を進めると同時に、プロジェクトの適正性や実現可能性を審査する審査法務部門において採用・育成体制の強化、各カテゴリー別の審査項目の再精査、審査フローの効率化を行いました。加えて、プロジェクト進捗のモニタリングやトラブル対応を行うモニタリング部門においてモニタリング体制の自動化やトラブルの未然防止のオペレーションを強化いたしました。また、開発部門においては、オペレーションシステムの構築・効率化、アクセス基盤強化等に取り組みしました。

そんな中、プロジェクト実行者によるプロジェクト掲載数は継続的に増加した一方、品質保証体制強化に注力するため、プロジェクトサポーターに対するプロモーションを縮小した結果、プロジェクトサポーターのサイトへの流入が減少傾向に転じました。また、応援購入総額は前年同四半期比106.7%増の4,512,189千円となり着実に規模拡大を続けております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は992,732千円(前年同四半期比91.1%増)、営業利益は152,009千円(同47.7%増)、経常利益は152,232千円(同47.1%増)、四半期純利益は105,813千円(同46.7%増)となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は5,495,215千円となり、前事業年度末と比べ678,231千円の減少となりました。

流動資産は838,762千円減少し、4,809,076千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が691,370千円減少したことによるものであります。

固定資産は161,938千円増加し、675,206千円となりました。主たる要因は、投資その他の資産が113,732千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は2,709,904千円となり、前事業年度末と比べ790,524千円の減少となりました。

流動負債は793,764千円減少し、2,678,328千円となりました。主たる要因は、未払金が425,677千円、預り金が203,585千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は3,240千円増加し、31,576千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が3,240千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は2,785,310千円となり、前事業年度末に比べ112,293千円の増加となりました。主たる要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が105,813千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年9月期決算発表時から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109,351	4,417,981
売掛金	530,318	365,639
その他	15,164	32,451
貸倒引当金	△6,996	△6,996
流動資産合計	5,647,838	4,809,076
固定資産		
有形固定資産	46,969	49,116
無形固定資産	356,458	402,518
投資その他の資産		
その他	117,376	231,108
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	109,839	223,571
固定資産合計	513,267	675,206
繰延資産	12,340	10,933
資産合計	6,173,446	5,495,215
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	155,480	49,492
預り金	2,345,603	2,142,018
その他	971,008	486,817
流動負債合計	3,472,093	2,678,328
固定負債		
勤続インセンティブ引当金	28,336	31,576
固定負債合計	28,336	31,576
負債合計	3,500,429	2,709,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,847	1,137,465
資本剰余金	1,136,847	1,137,465
利益剰余金	388,949	494,762
自己株式	△115	△115
株主資本合計	2,662,529	2,769,578
新株予約権	10,488	15,732
純資産合計	2,673,017	2,785,310
負債純資産合計	6,173,446	5,495,215

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	519,503	992,732
売上原価	101,211	187,270
売上総利益	418,292	805,461
販売費及び一般管理費	315,399	653,451
営業利益	102,893	152,009
営業外収益		
講演料等収入	833	1,611
その他	205	19
営業外収益合計	1,039	1,630
営業外費用		
支払利息	85	-
株式交付費償却	376	1,407
営業外費用合計	461	1,407
経常利益	103,471	152,232
税引前四半期純利益	103,471	152,232
法人税、住民税及び事業税	30,819	43,023
法人税等調整額	507	3,396
法人税等合計	31,327	46,419
四半期純利益	72,144	105,813

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。